

4 救命救急センター



現在、11名の救急専従医と3名の非常勤医師によって、救命救急センターでは多様化・細分化した重症患者さんに対応するべく、集中治療医、外科医、内科医、循環器内科医、整形外科医、脳外科医による集学的医療体制を構築しています。

2024年度の受け入れ状況としては、新型コロナウイルス感染症の流行収束後、コロナ関連の重症患者さんは激減した一方で、従来型の重症外傷、広範囲熱傷、薬物中毒、ARDS症例などの紹介が再び増加傾向にあります。特に、肺炎に伴うARDS症例が引き続き認められました。

一方で、軽症コロナウイルス感染症患者さんや明確な疾患特異性を持つ症例については、適切に各診療科で対応いただく体制が継続されたことで、EICU・救急病棟ともに重症度の高い症例に特化した運用が維持されました。

熱傷センターにおいては、自家培養表皮や人工真皮を用いた先端的植皮術が積極的に行われ、安定した成績を上げており、四肢切断に対する再接着術も引き続き形成外科・整形外科と連携して受け入れています。

内因性疾患においても、心肺停止・心室細動などの重症症例に対し、経皮的人工心肺（PCPS）や冠動脈形成術、脳低体温療法を組み合わせた高度治療を提供し、社会復帰を目指す集中治療が実践されています。

また、周産期救急への対応や劇症肝炎、急性膵炎、消化管出血に対する血液浄化療法・内視鏡治療、そして県外からの搬送にも対応する体制を維持しています。災害医療については、引き続きDMAT 2チームと災害医療コーディネーターを有し、能登半島沖地震の派遣経験を活かして災害対応能力を日々強化しています。

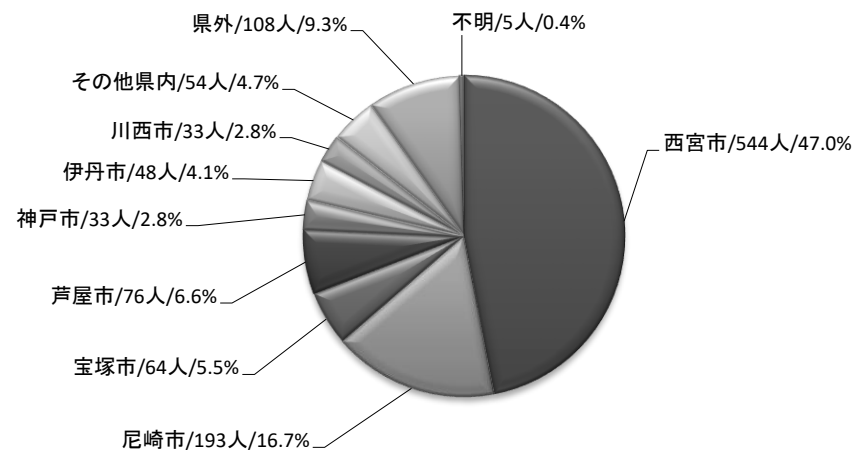
教育活動では、医学生・若手医師・看護師・救命士などを対象にBLS・ICLS・ISLSなどのトレーニングを定期開催し、実践的能力の涵養に取り組んでいます。特に今年度の第21回メディカルラリーにおいても優勝を果たし、地域医療人材のリーダー育成の実績を積み上げています。

4-1 月別入院患者状況 (人)

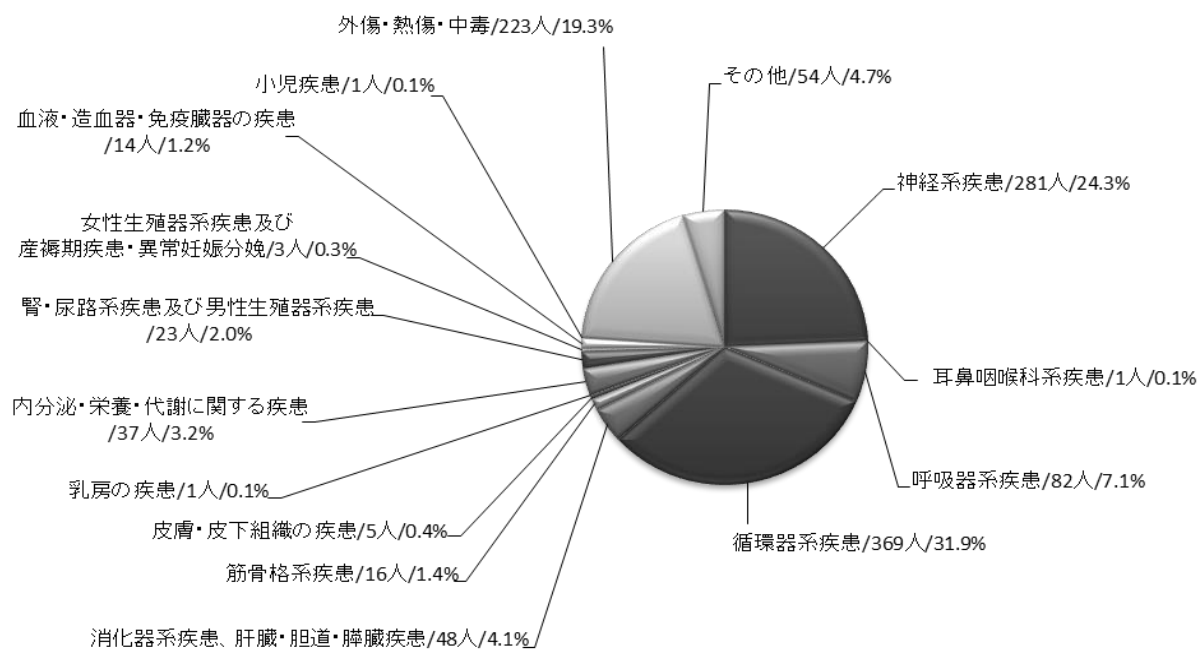
区 分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
診療日数(日)		30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
E I C U	新 入 室	93	114	105	128	111	98	119	117	136	149	153	179	1,502
	転 入	12	12	16	19	13	26	15	13	9	15	9	9	168
	退 院	16	12	10	12	9	16	12	11	13	13	11	12	147
	転 出	86	118	113	132	114	109	126	120	124	156	153	176	1,527
	延 在 室	269	302	297	336	307	284	259	221	285	346	303	274	3,483
	一 日 平 均	9.0	9.7	9.9	10.8	9.9	9.5	8.4	7.4	9.2	11.2	10.8	8.8	9.5
	利 用 率 (%)	49.8	54.1	55.0	60.2	55.0	52.6	46.4	40.9	51.1	62.0	60.1	49.1	-
	稼働率 (%)	68.7	77.4	77.8	86.0	77.1	75.7	71.1	65.2	75.6	92.3	92.7	82.8	-
救 急 病 棟	新 入 室	12	10	11	9	15	3	3	10	14	13	3	8	111
	転 入	58	81	66	84	79	71	69	73	83	87	77	81	909
	退 院	26	22	19	30	27	11	12	19	23	31	22	31	273
	転 出	45	72	57	66	65	62	62	61	79	62	59	59	749
	延 在 室	506	599	562	577	548	472	504	560	607	563	514	560	6,572
	一 日 平 均	16.9	19.3	18.7	18.6	17.7	15.7	16.3	18.7	19.6	18.2	18.4	18.1	18.0
	利 用 率 (%)	70.3	80.5	78.1	77.6	73.7	65.6	67.7	77.8	81.6	75.7	76.5	75.3	-
	稼働率 (%)	80.1	93.1	88.6	90.5	86.0	75.7	77.7	88.9	95.3	88.2	88.5	87.4	-

利用率＝	在 院 (室) 延 患 者 数	稼働率＝	在院(室)延患者数＋退院(室)転出患者数
	実 働 延 病 床 数		実 働 延 病 床 数

4－2 2024年度住所地別患者数の構成比率(合計1,158人)



4－3 2024年度主要傷病別患者数の構成比率(合計1,158人)



4－4 2024年度年齢別患者数の構成比率(合計1,158人)

